



平成 23 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ カ チ ホ
代表者名 代表取締役社長 久保田 知幸
(大証 JASDAQ・コード : 8 2 2 5)
問合せ先 執行役員経営企画部長 渡辺 三千也
電 話 0 2 6 - 2 2 1 - 6 6 7 7

平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 8 月 4 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の第 2 四半期累計期間連結業績予想と本日公表いたしました平成 24 年 3 月期第 2 四半期決算実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計連結業績予想数値と実績値の差異（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日） （百万円未満切捨て）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,265	80	60	20	3.20
今回実績値（B）	6,178	147	123	65	10.44
増減額（B－A）	△86	67	63	45	
増減率（％）	△1.4％	84.1％	105.2％	226.8％	

（注）前事業年度は連結決算を行っておりませんので、第 2 四半期累計期間の対前年比較は掲載しておりません。

2. 差異の理由

平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績につきましては、東日本大震災発生後の期初である 4 月に大幅な減収・減益を余儀なくされたことを踏まえ、当第 2 四半期累計期間は、非常に厳しい業績水準が続くものと見込んでおりました。売上高は東北地域及び北関東地域における一部観光地において観光客の減少があったため、前回発表予想を僅かに下回ることとなりました。利益面では、期初保守的に貸倒引当金を見込んでおりましたが、当第 2 四半期累計期間において債権の回収が進み、貸倒引当金の戻入が発生したことに加え、経費削減等の成果もあり前回予想値を上回る実績となりました。

なお、通期見通しにつきましては、第 3 四半期以降の販売動向は市場環境や天候要因によって変動する可能性があるため、平成 23 年 8 月 4 日に公表いたしました通期予想に変更はありません。今後の業績動向により通期の業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

以上